

みなさん、おはようございます。

まずはじめにみなさんにお礼をいいます。先日の卒業式の予行、もはや予行練習ではない、なんともいえない、素晴らしい雰囲気の中で卒業生とみなさんとのお別れの会でした。みなさんも、具体的に説明できないかもしれませんが、感覚的に特別な空気感を感じていたのではないのでしょうか？あの雰囲気が「隅田中学校の卒業式」です。

では、誰があの雰囲気を作ったのか、それはあの場にいた全員です。卒業生や先生方、そしてみなさんです。そう言われても、「僕は私は別になにもしないよ」って思ってるかもしれません。椅子に座っている姿勢、起立や礼をするときの動き、校歌や卒業式の歌をしっかりと声を出して歌ったことなど、みなさん一人一人の毅然としためりはりのある態度と、卒業生を心を込めて送り出してあげようという思いが合わさって、あの素晴らしい雰囲気を作り上げたのです。まさしく「隅田中魂」のこもった素晴らしい時間でした。ほんとうにありがとう。

さて、今日は令和2年度の修了式です。学期の終わりは終業式ですが、1年の学び終わりは修了式といい、先ほど、赤坂くん、中道くんに、みなさんを代表して修了証を渡しました。

この後、担任の先生から渡してもらえる修了証には、この1年のみなさんの学びや成長の跡が記されています。「コロナ禍」の今までとは違う生活の中で、みなさんは戸惑いながらも確実に成長していることや、今年の初めに私からみなさんに「考える」をキーワードに生活してほしいと話したことが、少しずつみなさんの中に浸透していっているのが修了証を見るとわかります。

みなさんより先に修了証を「通信欄」に注目しながら見せてもらいました。いくつか印象に残ったものを紹介します。

「この1年で一番成長したと思うところは、気づいて行動するところ
です。自分から進んで学級の仕事を丁寧にしてくれました。〇〇さんに頼めば大丈夫といつも安心して任せていました。ありがとう。」

「自分から課題に取り組むことはとても大切で、素晴らしいことです。
1ページ学習を進めることが、一步自分の進路を開くことにつながると

信じて努力を続けていきましょう。」

『ちょっと考える』ことは簡単そうでなかなかむづかしいですね。あなたは、周りのみんなよりも時間がかかります。でもできることはないはずです。本当はお母さん思いの優しい人。3年になったら部活・進路も含めて大変なことが増えます。頑張るしかないよ！」

「自分の芯をしっかり持ち、周囲に流されないところが魅力です。〇さんの支えがあったから、学校生活を楽しいと思えた人がいます。」

これらはほんの一部です。どれをとっても、成長していることの喜び、感謝、叱咤激励と、先生方の優しくもあり、厳しくもある愛情が込められています。この通信欄は先生方からみなさんへの「3行ラブレター」です。

また、今年から道徳が教科化され、いろいろなことを学びました。その中で、「美しい母の顔」という学習をした際、「今は反抗期でお母さんと喧嘩するけど、いなくなったらと考えると絶対無理。お母さんは世界一だ」と感想を綴っている人がいました。心がじーんと温まり、私もこの授業を受けたかったなあと思いました。

2週間の春休みを経て、新年度が始まります。コロナ禍はまだ収まる気配がありません。しかし、最初に話したように、みさなさんは、あれだけの予行練習の雰囲気を作り出せる力を持っています。あの時だけにならないようにするのが大切です。今よりもっともっと素晴らしい隅田中学校に、来年の卒業式が今年以上の卒業式にするために、個人個人の成長はもちろんですが、集団としてもさらに成長してほしいと願います。

入学してくる1年生と、1つ進級したみなさん、そして、みなさんのことを時には厳しく、時には優しく見守り、寄り添ってくれる先生たちと、それから、みなさんのご両親やご家族の方々と共に歩いていきましょう。

みなさんなら、隅田中学校をより素晴らしい学校することができると思います。次の1年、みなさんがどんな姿を見せてくれるか今からワクワクしています。

以上、令和2年度修了式の式辞といたします。